

# 東建パブリニュース

平成30年7月3日

経営管理本部 広報IR室

《このニュースは、当社に関連する記事が掲載された新聞・雑誌等の情報を逐次、速報するものです。》

掲載

平成30年5月20日 中日新聞 P.23

●当社に関する記事の掲載がありましたので、以下の通りご報告いたします。

日本刀の制作過程を学んでもらおうと、東建コーポレーション（名古屋市中区）は十九日、桑名市多度町多度の多度大社に地元の小中学生六十人を集め、刀匠の鍛錬作業を公開し

## 熱した刀 火花散る

桑名 小中学生が鍛錬見学



1300度に熱した玉鋼を大づちでたたき、刀匠たち＝桑名市多度町の多度大社で

た。岐阜県山県市の刀匠尾川兼国さん（六五）らが、境内で鋼材「玉鋼」を木炭にくべ、ふいごを使って熱した。一三〇〇度に達した玉鋼を、火花を散らしながら

大づちで繰り返し返したとき、強度を上げていく作業を小中学生らが見守った。

玉鋼は尾川さんが持ち帰って日本刀にし、来年四月に多度大社に奉納する。

桑名市在良小三年の坂田朱音さんは「アニメを見て刀がどう作られているのか興味があった。とても心が込められてると思った」と感心していた。

東建の左右田稔社長兼会長が刀剣の収集家で、桑名が妖刀伝説を持つ「村正」の生産地だったことや、多度大社が鍛冶の神「天目一箇神」を祭ることにならんで企画した。（高島碧）